

号外から戦争を考える

～重大ニュースと戦争～

A-2-8
新聞を
使う

【 対象 】 一般教員、司書教諭、司書、生徒
一般 他

【 時間 】 50分

【 会場 】 多目的ルーム、会議室、教室など

【参加者の持ち物】
筆記用具 など

【準備】 大きめの付箋 マスキングテープ等掲示用品
キット 2-12
最近の号外例

【 講師 】 不要

【 活動の流れ 】

- ① 新聞社が発行する号外について重大ニュースとして理解する。
※指導者による「号外」についての説明
- ② 各班に新博キットの戦争に関する号外を1～2枚程度配布し、わかったことを班の中で発表し合う。記録係が大きめの付箋に記録する。
- ③ 各班の代表が、報告をする。
- ④ 号外を掲示板や黒板に時系列に並べる。その際、記録の付箋を号外の下に貼る。
- ⑤ 掲示された号外を巡視し、号外に取り上げられている記事の変化や特徴を考える。
新聞社の姿勢・社会的な（政治的な）要請など
- ⑥ 直近の号外に触れ、違いの感想を発表する。

【 その他 】 号外についての学習も兼ねています。号外に取り上げられるのは新聞社が非常に重大と判断したニュースという視点で、号外の変遷をとどることで、社会全体が戦争に突き進んでいくさまが理解できます。